

### アジア松製材ほか梱包材、国産材、LVL合板 3月出荷分から値上げ

## 円安とコスト上昇で

瀬崎林業

瀬崎林業(大阪市、遠野嘉之社長)は3月1日出荷分から、梱包用のチリ産アジア松製材、国産材、ベトナム・中国産合板・LVLを値上げする。

昨秋以降、為替が再一役・保管料などの諸コストから、輸入、国産を円安に転じている。コストが軒並み上昇して、問わず、同社が扱う全とに加え、運送費、荷取益を圧迫している。木質梱包材の価格改

定に踏み切る。

同社は昨年8月、チリ産アジア松製材について3000円(梱包工場着、立方材)の値上げを実施したが、再度の円安転換を受け、3月出荷分から、現状から6%の値上げを行う。

昨年10月に1.140円後半だった為替が11月以降には1.55、1.58円の円安になり、輸入コストが6%以上上昇していることが背景にある。

またベトナム・中国産LVL合板についても昨年、アジア松と同時期に値上げしたが、アジア松製材同様、昨秋以降のコスト高に対応するため、6%値上げする。

杉、桧、カラ松、トド松などの国産梱包材についても、昨今の原木

価格の上昇に加え、2024年問題による輸送費の上昇や、国内保管料の値上げなどが取

益を圧迫していることから、2000円(同)の値上げを実施する。

同社は「コストの削減に努めてきたが、物流費などの諸コストの上昇が著しく、企業努力だけではコスト吸収が困難な状況にある」と説明している。